

静岡県大会

決勝戦で敗退も

東海大会出場の切符を手にする

1回戦 対藤枝市立青島中。5回まで両投手の投げ合いで互いに無得点。函南中は6回表、2アウトからヒットと盗塁で2アウト2塁のチャンスを作ると4番森田、5番山本の連打で2点を奪う。青島中は7回裏、失策を絡めて1点を返すが後続が続かず、2対1で函南中が勝利を収めた。

2回戦 今大会優勝候補の対掛川市立掛川東中。函南中は3回表、失策で出塁した走者を1番谷口、2番後藤、3番吉田の3連打、死球、ヒットなどで一挙7点を奪う。投げては、先発投手の山本が相手の的を絞らせず、5回参考ながら完全試合を達成し7対0で勝利を収めた。

準々決勝 対静岡市立賤機中。賤機中は1回表、好走塁を絡めて1点を先制する。今大会で初めて先制された函南中は1回裏、失策で出塁した走者を2番後藤の2ベースヒットで返し、すぐさま同点に追いつく。函南中は2回裏、四球のランナーをヒットとバントで進塁させ、1アウト2・3塁のチャンスを作ると8番谷口のヒットで1点を勝ち越す。賤機中は6回表、ヒットの走者を盗塁とバントで3塁に進め、

スクイズで同点に追いつく。2対2で迎えた延長9回裏函南中は、ヒットと四球で作った2アウト満塁のチャンスに1番谷口がヒットを放ち、サヨナラ勝ちを収めた。

準決勝 対焼津市立小川中学校。両投手の投げ合いで延長9回を終えて0対0、10回からの延長特別ルールによりノーアウト満塁からのスタート。小川中は10回表、併殺打と凡打で無得点に終わる。函南中は10回裏、内野ゴロが相手野手のフィルダーストヨイスを誘い、サヨナラ勝ちを収めた。

決勝

対東海大学付属静岡岡翔洋中。函南中は1回表、内野手の失策が重なり4点を奪われる。その後、6回裏に食らいつき1点を返すが追いつくことができず敗れた。決勝で敗れるも県大会で準優勝し、東海大会出場を決めた。

大会名	対戦相手	勝敗	スコア
県大会	1回戦	藤枝市立青島中	2対1
	2回戦	掛川市立掛川東中	7対0 <small>5回コールド</small>
	準々決勝	静岡市立賤機中	3対2 <small>延長9回</small>
	準決勝	焼津市立小川中	1対0 <small>延長10回</small>
	決勝	東海大学付属静岡岡翔洋中	1対15

東海大会

念願の全国大会出場決定も…

1回戦 対みよし市立南中（愛知県1位）。7回を終えて1対1。8回から延長特別ルールによりノーアウト満塁からのスタート。1点を奪われた函南中は8回裏、5番山本の内野安打で同点に追いつくと、6番渡邊のセンター前ヒットでサヨナラ勝ちを収めた。

準決勝 対四日市市立中部中（三重県2位）。函南中は1回表、死球と2番後藤、3番吉田の連打でノーアウト満塁のチャンスを作ると、4番森田の3ベースヒットで3点を先制する。その後、4回裏に1点を追加し4対0で勝利し、全国大会出場を決めた。

決勝

県大会決勝の再戦の対東海大学付属静岡岡翔洋中（静岡1位）。1点を先制された函南中は4回表、4番森田の2ベースヒット、5番山本のライト前ヒットの連打で同点に追いつく。しかし、4回裏、5回裏の失点が響き、一歩及ばず惜敗した。

4回裏、5回裏の失点が響き、一歩及ばず惜敗した。

大会名	対戦相手	勝敗	スコア
東海大会	1回戦	みよし市立南中(愛知)	3対2 <small>延長8回特別ルール</small>
	準決勝	四日市市立中部中(三重)	4対0
	決勝	東海大学付属静岡岡翔洋中	1対4

全国大会へ向けて

リベンジそして更なる上へ挑む

東海大会決勝で敗退するも、準優勝に輝き、初めての『中体連全国大会出場』が決定した。「やっと全国大会に行けて嬉しい」「粘り強く我慢する函南中野球部の成果が出た」「まだ信じられない」「実感が湧かない」。など喜びの声が聞かれた。

「しかし…」。3年生9人が口をそろえて話すのが、「同じ相手に2回も負けるのは悔しい」「今のチームになってから練習試合でも1回も勝つことがないので最後に勝ちたい」「東海大学付属静岡岡翔洋中と全国大会の決勝で再戦する約束をした」。など県大会決勝、東海大会決勝で敗戦した東海大学付属静岡岡翔洋中へのリベンジの言葉だった。「『全国大会出場』の目標は達成したが、選手たちはすでに『全国大会での東海大学付属静岡岡翔洋中へのリベンジ』『全国大会での更なる飛躍』を目標に掲げて歩き始めていた。

いざ全国へ

3年生9人の意気込み



1 山本 蓮
Ren Yamamoto

自分らしい我慢のピッチングを続けたい。1戦ずつ勝ち上がり、決勝でもう1度東海大学付属静岡岡翔洋中と対戦して勝ちたい。



3 森田 健介
Kensuke Morita

チームに貢献できるようなバッティングをし、勝利につなげたい。粘り強く、守備を中心に1戦ずつ勝ち上がっていききたい。



4 矢ノ下 瑠介
Yousuke Yanoshita

来た球を確実に処理し、堅実なプレーでチームに貢献したい。決勝まで勝ち進んで、全国の舞台でリベンジしたい。



5 後藤 健太
Kenta Gotou

声を出して、チームを盛り上げていきたい。練習試合でも東海大学付属静岡岡翔洋中に勝てなかったのが、最後にリベンジしたい。



6 吉田 圭佑
Keisuke Yoshida

チームの要として、いつも通りのプレーをし、勝利に貢献したい。厳しい練習とともに耐えた仲間と1試合でも多く試合をしたい。



7 波多野 克巳
Katsumi Hatano

確実な守備でチームの勝利に貢献したい。この仲間がいたからやってこれた。1日でも長くこのメンバーと試合をしていきたい。



8 渡邊 悠元
Yuugen Watanabe

自慢の守備力を生かし、チームの勝利に貢献したい。同じ相手にはもう負けたくない。全国の舞台でリベンジしたい。



9 谷戸 洸太
Kouta Yato

攻撃の起点になれるよう上位打線に繋がってほしい。今まで粘って勝ってきたので、全国でも粘って勝ち進みたい。



10 本木 友也
Tomoya Motoki

感謝の気持ちを忘れずにみんなより大きな声を出してチームを盛り上げたい。この仲間と1試合でも多く試合をしたい。